

全國の勞働者諸君に訴ふ

高尾君と行動を共にし生き残りの者から一言
申上げます！

12.7.3
62/10/22
94

階級戦の陣頭は尊いテロントラの闘士、同志平兵衛高尾君の血潮に染められた。
杉、米村を襲撃した事件の経過真相は同志平岩巖君によつて既に發表せられてゐる。
俺達はこれに對して何等加ふべき言葉を持たぬが、唯一言今回の事件に行動を共にし
た者として述べる、俺達は米村を殺つた後引揚げの途中を後からピストルの亂射を
受けた。米村は赤化運動防止など云ふ大それた事は今後決して致さずと悲鳴を上げ
て謝罪した。それに、卑怯にも二十間の背後から撃つたのだ。ブルジョア階級と其番犬
共が卑屈卑劣なる行爲と陰險惡辣なる手段に出ること彼等の常態である。その毒牙の
ため無残にも高尾は倒れた。俺達は負傷した高尾を階級の松井家の軒下に抱へ込んで
負傷の場所を檢べて見ると後頭部の首貫銃創で致命的のものだつた。然し俺達は何と
かして生命をとるとのんがため百斤奔走して應急手當を施さんとしたが、醫師は血潮
に染つた俺達の服装を見て深え上つて出て來なかつた、辛うじて他の醫師を依頼して
俺達は再び平兵衛の側に歸つて見たがその時彼は既に人事不省に陥つてゐた。近所の
人々も多數群つてゐた。平兵衛の死屍を抱いて、空しく囚はれる事は唯、彼の死を大
死に終らしむるのみだ。俺達は平兵衛の意志を思ひ、俺は仇はとつてやるぞと心に強
く叫びて同志平兵衛の死を最も光輝からしむる爲めに、事件の前後に亘る詳細なる眞
相を發表する必要上一先づ姿を隠した。

階級の陣頭に立つ者が同志の死屍を遺棄して姿を隠したことは既に種々批判する
者もあるが、それは實戦の経験とあの場合の事情を知らないものゝ言である。俺達は白
色恐怖に對し暴力闘争を開始したのだ。俺達は千の言論よりも一の行動をより尊し
とするものだ、高尾とは生死を誓つたものを、何でその友を殺されてた。姿を隠して
ゐられるものか。俺達に對する批難は近き將來に我等に何等の行動のないまで甘んじ
てうけよう。俺達は米村に對し上杉、高島に對し、資本家と一切の権力者及反動團體
に對し、同志平兵衛の遺志を繼いで復讐戦を開始する。白色恐怖に對するに赤色恐怖
を以てする。一切の準備は既に整つてゐる。

同志高尾の最終の事業は分裂したテロントラの陣列を、反對階級に對し一致共同
せしむるにあつた。戦線同盟はその目的の爲めに組織せられたものだ、平兵衛を始め
俺達の企畫したこの運動は平兵衛の尊き生命を踏ける事をもつてその緒に若くことが
出來た。

全國の勞働者諸君！ 諸君は誓つて平兵衛の戦死をして意義あらしめ！
それはひとへに諸君が奮起の如何にある。
おれ達今回の赤化防止闘争を襲撃した獲りの者としては次がら次へ、一切の全無産階
級運動を妨害するものに對して徹底的にあらゆる手段をとる。

重ねて云ふ、全國の勞働者並びに同志諸君！
平兵衛の死をして意義あらしめよ！彼の屍を一日も早く赤魔の下に眠らしめよ！！
大正十二年六月